

キッズみんなの日記

3月号

ママのたんじょう日
あしたは、ママのたんじょう日です。

かぞくみんなで、ケーキを食べます。たんじょう日会をするので、お花をあつめます。

あしたは、四時間下校なので、四時三十分までの時間をつかってあつめることを考えています。

(小三・KKさん)

息子しかいない私にとって、Kちゃんの女の子らしい優しさがうらやましい！大好きなお母さん
を思ふ集める花は、花屋に並んでいるどんな高価な花よりもお母さんを喜ばせることができるでしょうね。

算数テスト

今日、五時間目に算数テストが
かえされました。テストは分数です。
点数は、八十八点でした。

ぼくは、ものすごくくやしところ
がありました。Mをつけわすれたこと
です。そこが一番くやしかったです。

次のテストでは、うっかりミスがなく、
百点を取りたいです。

(小四・NN君)

N君のようにテストが返されて悔しいと思える
ようになったら、成績はぐんぐん上がりますよ
♪日常の「コマを上手に切り取り、「悔しさ」
「決意」とつなげているところがお見事です。

本について

私は、学校の国語で『効果的に発表
しよう』という勉強をしています。

何人かのグループで一つのテーマを
作り、それについて発表するというもの
です。

私は、本について調べることにしまし
た。「本の歴史」例えば、なぜ本は作
られたのかや、「今、人気の本」や「人
気の本の歴史」や「活字ばなれについて」
などです。

私は、活字ばなれについて調べるこ
とになりました。活字ばなれをうら
づけるしようこや、なにがいけないの
か、そうだった理由はなどを調べます。
パソコンや本などで調べ、わかりやす
くまとめるつもりです。

今度、パソコンの時間に調べるので
とても楽しみです。よりわかりやすく、
より具体的にまとめて
いこうと思っています。

(小五・KHさん)

学校で取り組んでいる内容を、誰にでもわか
りやすく丁寧に説明していますね！読書家のH
ちゃんには興味深いテーマですね。調べる内容を
具体的に説明することで発表に向けての意気込
みを上手に強調しています。

卓球クラブのトーナメント戦

一月二十七日に卓球クラブがあり
ました。三学期なので、トーナメント
戦をしました。A、B、Cに
分かれてやりました。

ぼくはAグループで、十人でやり
ました。シードはとれませんでした。
五点マッチで、一回戦目は、いきな

り卓球クラブの部長とやりました。
でも、あっさり五対〇で勝ってしま
いました。準々決勝はシードの人とや
りました。その試合も、五対〇で勝
ちました。

今までやった試合の相手は全員六
年生でした。準決勝の相手は五年生
だったけど、五対〇で勝ちました。

決勝は、どきどきして、手に力が
入りませんでした。

相手は四年生だったけど、三対五
で負けてしまいました。とてもくや
しかったです。

けれど、上位三位まではほかのB
とCのチームの代表と戦うことができ
ます。楽しみです。優勝はできなかつ
たけど他のチームの代表には勝た
れています。

(小五・MR君)

R君が六年生相手に、次々と勝ち進んでいく様
子がリズム良く描かれていますね。決勝での緊張
感も「手に力が入らない」と見事に表現されてい
ます！続きが読みたくなる最終段落のまとめ方
も見習いたい、テクニクです。

初めての試合

二十八日、私は初めて四、五年生
の練習試合をしました。

私は、五年生なので六年生の試合
はいつも見ていましたが、実際にやっ
てみるとすごいつかれるし、きんちよ
うしました。六年生はいつもこんな
きんちようしているのかな、と思いま
した。私は、試合の時、カットしかで

優秀作品紹介

段落を整理して 順序よくまとめる

ゆきがっせん

ぼくは、きょう、がっこうで

ともだちとゆきがっせんをしました。

ゆきにさわったら、かたかったです。

でも、たのしかったです。

なげられたときも、いたかったけど、

やりかえました。(小一・NS君)

珍しい積雪にはしゃぐS君の姿が目にかがぶよう
です。明け方雨に変わって回りました雪の感触を
上手に表現しています。五感を働かせたよいお手本
ですね。低学年のみなさんは是非参考に！

きませんでした。私は他のチームの人とチームを組んで六年生と戦いましたが、ボロ負けでした。悔しかったのもっと強くなりたいです。

(小五・TRさん)

見るの自分で行くのでは大違いですよ。Rちゃんの感じた「緊張感」「疲労感」、そこから六年生の気持ちを推し量ってみたいところが素晴らしいですね。時間を「今」から「過去」へ、気持ちを「自分」から「仲間」へ、上手に書き広げるヒントがたくさん感じられる文章です!

調理実習

ぼくは、今日家庭科でスクランブルエッグを作りました。生地に生クリームを入れて、しあがりをつくらせました。



焼いているときは、しっばいしない心配だったけど、できあがるとほっとしました。

レタス、トマト、ベーコンをもりつけてできあがりしました。生地がふっくらしておいしかったです。

(小六・KD君)

彩り鮮やかな盛りつけを想像すると思わずお腹が鳴ってしまいそうになりますね! D君は「工夫や、出来上がるまでの心配な気持ち」、「美味しさの理由」をとて上手に表現しています。

参観日

今日、学校で六年生最後の参観がありました。

学年で三人一組になり、体育館で世界の国を調べました。

ぼくのチームは「梨ゼミチーム」です。S君とSさんとぼくの三人でバハマとい



う国を調べました。調べるのは、人口、国旗(意味も)行事などでした。調べて、とてもよい経験になりました。

(小六・SM君)

楽しそうな参観内容を、わかりやすくスッキリとまとめられましたね。「梨ゼミチーム」というM君の表現が楽しく、また、「梨ゼミスタッフ」としては応援したくなります! 調べてわかったことを具体的に書けると、より素敵な文章になります。

今年初めての雪

今日、朝起きてすぐに窓から外を見ました。なぜかという、昨日雪が降ると言っていたからです。見てみると、ちがう世界のように感じました。

ぼくは、早く外で雪遊びをしたいなと思いました。学校に着いてから、友だちと雪遊びをしました。楽しかったけど、足がぬれて気持ちわるかったです。



(小六・SY君)

書き出しの一文が読み手の想像力を掻き立てますね。幻想的な一面の銀世界を目にしたY君、「ちがう世界」との表現はピッタリです。足がぬれるほど雪遊びに夢中だったことも上手に説明できました。

ドッジボール

学校の業間休みに、クラスの男でドッジボールをしました。ぼくは、ボールを投げるのが得意じゃないので、やろうとはそんなに思わないのですが、外で遊ばないとつまらないので、遊びました。

でも、やっぱりボールを投げるのが苦手なので相手が投げたボールを、



取ることしかしていませんでした。だけど、ぼくの仲間が全員当てられてしまい、ぼくしかない状況になりました。だから、思いきり投げてみたら、相手をいっぱい当てることができました。

ぼくは、初めてドッジボールで相手を当てるのができてうれしかったです。

(小六・KA君)

優しく控えめなA君の性格がよくわかる文章ですね。実は、投げるのも得意だったので、それとも、火事場の馬鹿力でしょうか。今まで知らなかった自分の才能に気付いた瞬間を上手に切り取って、その嬉しさを見事に表現できました。

焼きいもパーティー

今日、学校で焼きいもパーティーをしました。なぜしたかという、みんなと交流を深めるためです

まず、さつまいもを新聞紙に包んで水にぬらします。次に、アルミをまいていきます。このときに、空気をいれないようにしっかりとおさえてこみます。これでさつまいもを焼く準備は完了です。

次に、焼く準備に入ります。今年は、放射能のえいきょうで葉っぱが使えません。だから、牛乳パックで焼きました。いもを火の中に入れてたら、私たちは勉強をするため、教室へもどりました。

勉強などが終わって校庭に行くと、いもがいっぱい並べてあり、好きなのを

取りました。中を割ってみると、黄色の色が見え、いいにおいもしました。先生が食べていいよと言ったので食べてみると、ものすごくおいしかったです。

私は、初めて焼きいもを焼きました。とってもおいしくできてよかったです。

(小六・SNさん)

自分たちで作る焼き芋の味は格別でしょうね。「段落構成」「手順の明確な説明」は大人顔負けの出来です! Nちゃんの「五感」を通して、おいしい焼き芋が容易に想像できます。今月号の最優秀作品に認定です!

伊藤先生のおすすめ本



児童文学に魅せられた伊藤里美先生選りすぐりの1冊を学年毎に毎月ご紹介いたします。紹介したおすすめ本は、順次梨ゼミ文庫として壁に揃え、貸出も行っています。上手な文章を書くには、素晴らしい作品に多く触れることが何よりの近道です。

★低学年★

かもさんおとまり 福音館書店
パト・マッコスキー 作/渡辺茂男 訳

かも一家が、川から公園へ引っ越します。かもたちは一列になって町の中を歩かします。さあ大変! おまわりさんは自動車をとめて交通整理。パトカーまで出動です。

★★中学年★★

ミリー・モリー・マンデーのおはなし 福音館書店
ジョイス・L・プリリー 作/菊池 恭子 絵

ミリー・モリー・マンデーは短い髪、短い足に、短い服を着た元気な女の子。イギリスの古き良き時代の田舎を舞台に語られるユーモア溢れる幼年童話の古典です。全12編。

★★★高学年★★★

ぼくがぼくであること 岩波書店
山中 恒 作

やかましい母親や優等生ぞろいの兄弟の中で秀一だけはダメな子だった。ひょんなことから家を出した秀一は、同じ年の少女とおじいさんの住む農家でひと夏を過ごす。